

名古屋市立名北小学校での出前講座実施報告

名古屋自然保護官事務所は、6月5日に名古屋市立名北小学校にて出前講座を実施しました。

6年生2クラスを対象に、身近な生きものを知ることを目的として講座を実施しました。

講座の内容は、藤前干潟の自然と干潟に生息する生きものの紹介、干潟が守られた経緯、漂着ごみ問題と現状です。

学校の近くを流れる庄内川を海に向かって下っていくと藤前干潟に辿り着くことを地図上で説明して、藤前干潟がどこにあるのか知ってもらいました。

生きものについては写真で紹介し、貝やカニ、それらを捕食する鳥類など多様な生物が暮らしていることを伝えました。

今回はシジミを使った水質浄化実験も行い、二枚貝類が持つ特性を実感してもらいました。シジミを入れた泥水が数分後どうなるのかクイズを出題したところ、多くの皆さんが「水がきれいになる」と答えてくれました。

藤前干潟が守られた経緯やその重要性についてもイラストや写真で分かりやすく説明しました。また、藤前干潟では守られた以降も漂着ごみの問題に悩まされており、干潟の生き物たちが漂着ごみの被害者となっていることを紹介しました。干潟の生きものたちが安心して暮らせるには、自分たちが何をすれば良いのか考えてもらいました。

今回受講された6年生の皆さんは、4年生の時に社会科でごみ問題の学習をした際に藤前干潟について触れましたが、自然やそこに住む生きものの等については詳しく学んでいなかったそうです。この講座を通して干潟の魅力がより深まったのではないかでしょうか。



講義の様子



シジミの浄化実験

◆実施概要◆

実施日：平成26年6月5日（木）10:45～11:30

場所：名古屋市立名北小学校（北区）

対象：小学校6年生（2クラス、計68名）

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

◆講座の内容◆

テーマ	藤前干潟の生き物と自然
	<ol style="list-style-type: none">「ひがた」ってなに？干潟に住む多様な生き物たち<ul style="list-style-type: none">・シジミの浄化実験・貝類、カニ類、鳥類の紹介干潟が埋められそうになった藤前干潟の悩み<ul style="list-style-type: none">・干潟に流れ着くたくさんのごみまとめ



2014年6月5日

名古屋自然保護官事務所

アクティブレンジャー 上野淳一